

事業実績書

事業名	大学生ネットワークづくりと若い世代が活動できる場を広げる事業	
場所	沼津市 有限会社サンディオス（沼津市岡宮 1445-1） 総合事務用品フヂイの駐車場（沼津市上土町 31）	
期間	令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月 31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	2020年 4月	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など） 2020年4月より、まちの中で活動したい人の募集を始める。 基本的に SNS による募集を行った。また、沼津ハイポートの 0B・0G にも同時に声掛けを行った。
	5月	5月21日時点では、3人のメンバーが興味を持って参加した。 5月末までに沼津市で「何をやりたいか」をメンバー内で案を Slack 上に出し合った。
	7月	7月22日にオンライン会議を行った。 5月に出した案の中で、「中央公園で行うキャンプ」と「沼津市の観光ツアー企画」の2つに焦点を当てての話し合いを行った。 参加率が低く、長時間 Zoom を開いておき、1対1での話し合いを行った。
	10月	10月19日と10月27日にオンライン会議を行った。 「中央公園で行う1day キャンプ」に企画内容を絞り、実際の企画イメージや内容、段取りについて話し合いを行った。会議参加者が少なく、ほとんど1対1での話し合いが行われた。
	11月	11月4日に対面で会う場をセッティングした。（場所：横浜・タリーズ） それぞれの生活拠点が異なり、コロナ禍で集まるのは厳しいと考えていたが、オンライン会議の参加率や話し合いの内容共有などの問題を解決するために、一度横浜のタリーズに集まって話す場をセッティングした。 これまでのオンライン会議同様、予め日程調整を行っての開催としたが、結局参加者が1名となってしまった。
	12月	12月23日に「子育て応援サークルいちご」の代表・藤井さやかさんにまちづくりファンドの相談を行った。 現状の問題に対する解決が難しく、他の道を探るべく、同じくまちづくりファンドのソフト部門を取っている藤井さんに相談をした。 後日、津賀さんにも相談に乗ってもらうことが決まった。 12月28日に「有限会社サンディオス」の代表取締役・津賀由布子さんに相談に乗ってもらった。（場所：サンディオス） 話を聞いてもらい、「沼津と大学生が繋がる会 ～大学生のこれからを考える～」を開催することを決めた。 SNS や過去の繋がりから、焚き火を囲みながら沼津に住んでいる人の話を聞く会への参加者を募った。
	2021年 1月	1月4日に焚き火を囲む会（場所：サンディオス） 参加対象は大学生から大人のメンバーで開催した。 計11人が参加した。また、津賀さんにはファシリテーターを行ってもらった。 高校を卒業する前まではできていた活動が、卒業することで中々できなくなった人や、街中で何かをやりたいけれどもできない若者が多くいるのではないかと。そこから、After graduate club (AGC) という団体を立ち上げた。 →AGC とは 部活卒業後... 部活動をはじめ、高校卒業することで活動しなくなった、または、活動したくても中々活動する機会がない。そんな人たちの「活動を再開したい。」「街中でやってみたい。」を叶える団体。 はじめの活動として、焚き火を囲む会に参加した20歳の杉本颯真による「音楽ならやりたい」の一言から、若者が運営する音楽会を行うことが決まった。 SNS や個人の繋がりから、音楽が出来る人と運営をしたい人の募集を行った。

	<p>2月</p> <p>3月</p> <p>4月</p>	<p>1月16日に会議を行った。(場所：サンディオス) この時点では、商業高校を卒業した20代前後の人たちが6人参加し、そのほかの20代が5人と大人が2人の計13人が参加した。 主に楽曲や場所、広報の方法について話し合いを行った。</p> <p>2月10日にオンライン会議を行った。 場所の確保状況やメンバーの人数確認、当日に必要な物や当日想定される課題について話し合いを行った。 場所の確保については、上土商店街の理事長である小松浩二さんに相談を行い、「週末の沼津」が開催される日に中央公園の一部を利用して行えないかの相談を行い、許可を頂いた。</p> <p>3月5日に沼津経済新聞の榎さんと宮川さんに取材をしてもらい、その後杉本と今田で話し合いを行った。(場所：中央公園、ジョナサン) 広報の一環として、沼津経済新聞に取材をしていただいた。主に話した内容は、なぜAGCという団体を立ち上げることになったのか。音楽に携わる人はどのような人たちなのか。という内容と開催の詳細について話をした。 取材終了後、当日の動きや楽器の運搬、雨天時について話し合いを行った。</p> <p>沼津経済新聞 https://izu.keizai.biz/headline/1173/</p> <p>ヤフーニュース https://news.yahoo.co.jp/articles/88d4c0d6aa4c47f7d72a7d0072b005a720d933e0</p> <p>3月10日に雨天でも開催する方針に変更した。 音楽の練習をしてもらっていることなどを踏まえて、雨天でも開催することが出来ないか模索することが決まった。 ラクーンをはじめ、仲見世商店街、ららぽーと、サンディオス、沼津市民文化センター、上土商店街などをお願いをした。他にも会場の案としてイトーヨーカドーが挙げられていた。</p> <p>3月11日 ラクーンと上土商店街の総合事務用品フヂイの駐車場の2つが貸してもらえないかもしれない状況となり、フヂイの駐車場を使用することが確定した。 また、YouTubeライブ配信かインスタLIVE配信を行うことにした。</p> <p>3月12日に会場決定 天気予報に雨天だけではなく、雷の予報が出たことにより、注意報または警報が当日の朝7時までに出ていた場合は中止の判断とすることが決まった。 周辺店舗への挨拶回りや雨対策の消耗品などを購入するため、複数の店舗を回った。 搬入・搬出のやり方を確認するために18時30分から現地の視察を行った。 その後、YouTubeライブ配信の準備を行い、事前にURLと開催告知をした。</p> <p>3月13日に音楽本番(フヂイ) 空間準備と音楽準備に分かれて準備を開始した。 空間準備は、9時から雨除けのテントや電気の準備を行った。 その後10時ごろから、周辺店舗へ挨拶をし、YouTubeライブの準備をした。 音楽準備では、11時半集合に合わせて、11時ごろから搬入を行った。 大人見守り隊の大人をはじめ、大人の方にも多くの協力をしていただいた。 津賀さんにはセレナを裏手の駐車場に設置してもらい、楽器ケースなどの荷物を置く場所を準備してもらった。 林伸晃さんにWi-Fiの準備をしてもらい、杉浦希未子さんにマイクを用意してもらった。 また20代が運営準備をしている中、杉浦さんと榊原亮さんに司会を担当していただいた。 空間準備、音楽準備、大人見守り隊含めて23人が準備・運営に携わった。</p> <p>YouTube配信のアーカイブ https://youtu.be/8jnard4BXDU?t=160</p> <p>3月17日に沼津つーしんで、記事を見せてもらった。 https://www.numa2.jp/event/agc-20210317.html?f=s1</p> <p>3月26日に話し合いを行った。(サイゼリヤ) 次回の開催に向けての話し合いを行った。次回開催場所の候補が決まったため、今後は会場確保とスケジュール調整を行っていく。</p> <p>4月7日にNHK静岡「たっぷり静岡」で広報(予定)</p>
--	-------------------------------	--

	<p>2021年1月4日 焚き火を囲む会</p>   <p>2021年3月13日 A・G・C 1DAY session ワタシたちの音楽に卒業はない</p>    
<p>事業効果</p>	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>運営参加者へのインタビューより、関係者の満足度・期待度を高める活動となったことが分かった。</p> <p>後継者への認知度という点においてはまだ弱く、活動を続けていく中で多くの若者を巻き込んでいく必要がある。しかし、今回の活動をやることで、音楽ならやりたいという若者がいることが分かった点と、音楽に関して9月の実施に向け動き始めた点が評価できる。</p> <p>事業効果として、サポートを受けたうえで「やりたい」を叶える団体の設立によって、若者が活動したいときに相談できる「場」が出来た。</p> <p>今回の事業を通して、最初は1人で活動をしていたがサポートをしてくれる人が10人以上増えた。また、これまでの繋がりだけではなく、今回の事業を通して初めて知り合えた人が多く、新たな繋がりを持つことが出来た。</p>
<p>自己評価</p>	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>80点</p> <p>空きスペースの活用として、普段はただ駐車場として使用されている空間が、それとなく人が集まる空間へと変わった。</p> <p>このことにより、これまで静かだった場所がにぎやかになったことや、まちなかで若い人も含めて音楽をやっている姿に喜びを感じていた人がいたことなど、聞きに来てくれた人にも、何かした感じてもらうことが出来たのはやったことに対して意味を見出してもらえたと感じている。</p> <p>また、運営として携わった人たちから、「またやりたい」という声を聴くことが出来たことから、次の活動につなげることが出来たと考えている。</p> <p>しかし、事前準備や雨天中止から決行に変更したことに対して不満が生じている点など、改善点も多く見受けられた。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>9月ごろの開催に向けて活動することが決まっている。</p> <p>また、まちなかでやってみたいことがある人を募集し、実行に移すため、広報活動をSNS媒体を使ってやっていく。</p>